

平成26年度 一般会計予算 可決



希望が持てる持続可能な まちづくりを目指して

44億1,200万円 前年度対比87.5%

歳入

町税17億2621万円、地方交付税6億9000万円、国庫支出金5億6395万円などが主な財源である。

歳入の前年度対比の状況は、町税が法人税等の減収により約1億円減、国営神流川沿岸土地改良事業に係る経費分が皆減により繰入金5億3300万円、町債1億6600万円の減となっている。一方、地方交付税は法人税等の

歳出

減収に伴い5000万円の増、国庫支出金は臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金給付事業などに係る補助金等で1億5200万円の増となっている。

総務費6億5340万円、民生費14億1274万円、土木費7億1349万円が主なものである。前年度対比の状況は、農林水産業費が国営神流川沿岸土地改良事業に係る経費分の皆減により約8億3000万円減少した。

総務費では児玉郡市広域市町村圏組合負担金の公債費分が、小山川クリーンセンターの起債償還の減少等により9200万円減となっている。一方、民生費では臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金の給付などにより約1億3400万円の増、土木費では道路新設改良事業及びびスマーティック整備事業を推進するため5600万円増となっている。

平成26年度予算の主な施策

平成26年度は、美里村が誕生して60周年、町制施行30周年の節目の年に当たり、記念式典やイベントが開催されます。また、健康づくりでは、健康体操を創作する等、健康で生き生きとした活力ある健康長寿社会を目指す取り組みが行われます。まちづくりの要である寄居スマートICの早期開通を目指し、整備事業の予算化が図られるとともに、国の外部専門家を招聘し、調査研究が行われます。

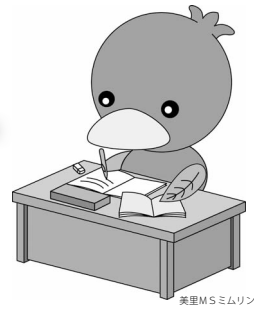
住宅施策は、新たに定住する方への定住促進奨励金制度の創設。公共交通施策では、町内循環バスにかわり公共交通（タクシー）利用料金補助事業が開始されます。普門寺池の改修整備を引き続き実施し、桐ヶ谷池の耐震調査設計や町民体育館床改修工事等を行います。また、コミュニティ施設改善事業やまちづくり助成金が引き続き実施され、地域コミュニティ活動の支援が図られます。

平成26年第1回美里町議会定例会が、3月4日から20日までの17日間の日程で開催されました。平成26年度の一般会計予算をはじめ6つの特別会計予算・水道事業会計のほか、平成25年度及び平成26年度の補正予算や条例の一部改正等の議案と、9名の議員による一般質問が行われました。

平成26年度 会計別当初予算額 ()は対前年度比

| | | |
|------------|-----------------|----------|
| 一般会計 | 44億1,222万5,000円 | (87.5%) |
| 特別会計 | 28億3,532万7,000円 | (103.4%) |
| 国民健康保険 | 14億3,173万3,000円 | (101.1%) |
| 住宅資金貸付事業 | 107万9,000円 | (100.0%) |
| 下水道事業 | 1億7,600万4,000円 | (147.4%) |
| 農業集落排水処理事業 | 2億4,243万円 | (93.0%) |
| 介護保険 | 8億7,927万4,000円 | (104.0%) |
| 後期高齢者医療 | 1億480万7,000円 | (105.6%) |
| 水道事業会計 | 4億4,941万8,000円 | (97.6%) |
| 総合計 | 76億9,697万円 | (93.3%) |





町民のために生かせ! 予算

3月議会は、新年度予算の議決が最重要課題です。国及び地方の財政状況は引き続き厳しい状況にあるため、限られた財源で、より効率的な予算執行が図られるよう特別委員会・常任委員会において、各議員から財政に関することなどの質疑がなされ、賛成多数により原案可決されました。ここでは、委員会での主な質疑を掲載いたします。

まちづくりプロジェクト業務委託

問 地域資源を活用した、まちづくりプロジェクト業務委託について、一定の方向性が見えているのか。

答 平成25年度はブルーベリー、古代豚等で地域おこしに繋がる内容を検討しています。この事業は3年間の継続事業なので、方向性が出たり示します。

再建支援制度の役割

問 再建支援制度の役割は、どのようなものか。

答 昨年、竜巻災害で越谷市は全壊家屋が10棟あり、国の災害救助法の支援を受けました。松伏町は同じ竜巻災害で全壊家屋が1棟のため支援が受けられませんでした。同じ竜巻で被害を受けたのに支援を受けられないのは不合理との考えから、県と市町村で1棟でも全壊家屋があれば支援する制度をつくりました。施行日は、平成26年4月1日、県3分の2と市町村で3分の1を負担し、約1億6000万円を積み立てます。

地域でお祝い長寿の集い事業

問 地域でお祝い長寿の集い事業委託の内容と、保険加入について。

答 この事業は、敬老会にかかわる事業として社会福祉協議会に委託するもので、各行政区で実施している高齢者いきいき対策事業等の中で、高齢者の健康づくりと地域の交流を深め、長寿を祝っていただく事業です。参加者1人当たり1000円を助成。保険については、協議会で現在検討しています。

災害対策必需品の対策は

問 災害対策必需品として、非常食などの物理

子ども・子育て支援計画

問 子ども・子育て支援計画の制度内容は、

答 平成27年度から、子ども・子育て支援事業が実施されることに伴い、児童の健全育成や保育の支援計画を作成するもので、青少年問題協議会で審議を行う予定です。

物を捨てさせない取り組み

問 不法投棄監視員を置くだけではなく、物を捨てさせない取り組みをどのように行うのか。

スマートIC整備事業

問 スマートIC整備事業は計画ど

答 監視カメラやカメラが設置されていることを知らせる看板を設置し、不法投棄の抑制に取り組みます。

学校給食の補助

問 学校給食補助金の内容は、

答 消費税増税による値上げ分と、地産地消を念頭に置いて進めていきます。

「スポーツ振興宣言の町」の記念事業は

問 スポーツ振興宣言の町として、記念の年に何か事業を考えているのか。

答 記念事業として、健康体操を計画しています。



賛成討論 最重要施策の寄居スマートIC整備事業は、供用開始に向け推進を強化している。新たに定住する方への定住促進奨励金制度を創設、町内循環バスにかわるタクシーを利用した美里町公共交通利用料金補助制度の実施、生命・身体・財産を災害から守るため街角消火器設置、交通安全施設の整備や、疾病予防の人間ドックには脳ドック補助が追加された。

また、各関係機関と連携し、農業後継者育成支援や果樹等の付加価値を高める施策、普門寺池改修整備のほか桐ヶ谷池の耐震調査設計の実施、町道の新設改良10路線、教育関係では生きる力を育むことを目指した各種施策の取り組みがうかがえる。基本構想をもとに事業の見直しや施策の重点化が進められ、厳しい財政状況の中、限られた財源で効率的な取り組みが図られているため、適切なる予算と申し上げて賛成とする。

反対討論 「財政が厳しい」と、町民には増税分を公共料金に上乘せしながら、町長・副町長・教育長の給与は実質増額しています。消費税増税等で商店やガソリンスタンド、飲食店等が廃業していますが、支援策もなく、町の農業を守る農業振興計画に基づく事業を進める予算や農業・商業を守り育てる施策がありません。陳情も放置され、緊急車両が進入できない道路が残ったままです。不法投棄、悪臭・ばい煙など、生活環境対策が不十分です。思想信条も踏みにじる「日の丸」「君が代」などの押しつけ教育と、町民の文化向上や芸術に触れる機会を高める予算や、伝統芸能等を充実させる予算も施策ありません。町民の暮らしや生活を守る立場で、美里町ならではの魅力を高め、町民本位の町政実現に町民の必要とする予算が削られていますので、反対します。

